ことなるかの明白なる証拠たり得やう！　暁鉄拝来の依求に於ける選挙は、それ自身が政友会との協同に依るものであり、候補者自身正確に無意識候補と断定し難い。

我々は敗れた！、だが、未組織大衆の好奇心と、ペチブル階級の寄因り逆義心　無責任な興味半分、前回の選挙斗争に見たこれらの者はすでにない。

大衆は成長した！、失業窮乏のドン底から、今や立ち上らんとしてゐる大衆の支持だ！、

恐慌は尖鋭化する険悪なる支配階級の組織の末端にまで行き届いた切りの限りをつくした弾圧がそこにあつた！、

我等はこれが厳重なる批判の上に我々の当面の闘争方針を決定しなければならぬ。

選挙闘争の批判

何故我等は惨敗したか？、批判は直ちに眼を本部会の今日までの日常斗争に注がせる！、常任委員会は大体に於てこれを次の三つに大別し得る！、、

A、日常斗争の不活発

B、組織の不整備

C、現議員団の斗争の不活発

七、日常闘争の不活発

本年八月会因納草へ無産政党結成への約束たらしむべく地方会同を完成した本部会会は、その半ケ年を如何に戦つて来たか？、三野浜案反対のカンパ、会費本部村県議党のカンパ、反動五十九議会臨時解散！、蔵相反動内閣打倒、会同結成後の積極会費々！、がこれらを一貫して決定するものは、会同された階級の整備がある！、そこには大衆の不平、不満、要求を取り上げ、之を大衆中に拡へしむ日常闘争発の意識的計画はなかつた、更に五月、賃銀値下ゲ斗争が戦はれた時、党は大体の意向は、運動を小市民的改良主義的として片づけて白眼視した、切論常任委員会が本斗争方針を以つて望まなかつたと云ふ小悩がないではなかつたが、（に該因たる斗争）これは絶対に誤りだ、それが如何に小さな要求であり斗争であるとも、斗争それ自身が改良主義的であると云ふやうなものは断んじてない、要はこの不平を如何に取り上げ、如何に戦ひ、如何に組織するかが、それの階級性を決定するのだ！、

借家人問題に就いて述べるならば、常任委員会はこの斗争の禁令を認めて、「個人的借家問題は原則として扱はず」と決定して消極的防衛策を取り、これを如何に発展さし組織するかを考へなかつた事は誤りである例へばそれが下水の板へ移につしても無産階級の不平がある！、結局未組織大衆の組織化は直接自己の生活と関係ある極く卑近な斗争題目をピシ〳〵取り上げる事に依る他はない！、これを大衆動員に依る如みど